



行き届いた管理作業で こだわりの高品質キュウリの栽培

キュウリ経営 宮ノ陣町 神代 善幸さん (39歳)

就農して19年

小さい頃から農業の手伝いをしてきた神代善幸さん。普通高校に通う中で就農を意識しはじめ、農業大学校へ進学した後、20歳で就農しました。祖父の時代から続くキュウリを中心とした経営を継承し、約1、100坪のハウスでキュウリを栽培しています。作業の効率が良く、秀品が多く収穫できる「吊り下げ栽培」という方式を導入しています。冬春キュウリは11月から6月まで、夏秋キュウリは8月から9月まで毎日休まず収穫をし、多い時は1日に約6、000本収穫するなど忙しい毎日です。

就農して19年になりますが、現在、JAくるめきゅうり部会では善幸さんより若い農業者は少なく、今後若い後継者が増えていくことを期待しています。

こだわった高品質のキュウリ栽培

「管理をすればするだけいいものができる。」とキュウリ栽培のやりがいを語る善幸さん。毎日の管理を欠かさず、生育状況の把握や病気・害虫の早期発見に努めています。また土づくりにもこだわを持ち、完熟させた牛ふん堆肥を投入することで高品質なキュウリを栽培しています。天候の変化に大きく左右されることが農業の難しさですが、手間暇かけた丁寧な管理作業が安定した生産に繋がっています。

様々な活動を通じて

善幸さんはJAくるめきゅうり部長を務めるほか、くるめ認定農業者協議会に所属するなど、農業振興や地域づくりなどの活動を積極的にを行っています。「様々な活動を通じて自分が作るものに自信がついた。今後も更に自分をアピールしていきたい。」と語っています。

